

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	都市環境気候図標準化検討小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	
設置期間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市環境気候図標準化の検討 (利活用方法・測定方法等) ・公開勉強会の開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	清田誠良 (主査：広島工業大学)、田中貴宏 (幹事：広島大学)、石田秀樹 (北海道東海大学)、渡辺浩文 (東北工業大学)、足永靖信 (建築研究所)、成田健一 (日本工業大学)、岩井一博 (信州大学)、芝池英樹 (京都工芸繊維大学)、鳴海大典 (大阪大学)、吉田篤正 (大阪府立大学)、宮崎ひろ志 (関西大学)、竹林英樹 (神戸大学)、依田浩敏 (近畿大学)、堤純一郎 (琉球大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	将来構想 WG 新進気鋭の若手研究者を中心メンバーとして、都市気候学および都市環境気候図応用研究の将来方向性を検討する。	
2010 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「都市環境シンポジウムー風の道によるクールシティ」 (日本建築学会近畿支部都市環境部会と共催) 12/12, 常翔学園 大阪センター
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. シンポジウムを日本建築学会近畿支部都市環境部会と共催し、ドイツ、および、日本におけるクリマアトラス (都市環境気候図) の現状等を把握した。そしてそれをもとに、都市環境気候図標準化の検討を行い、一定の合意がなされ、また残された課題の明確化がなされた。
委員会活動の問題点・課題	1. 刊行予定書籍の遅れ

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。